第11回地方独立行政法人公立甲賀病院評価委員会 会議録

日　時：令和5年（2023年）8月30日（水）13時30分から14時53分
場　所：公立甲賀病院　診療棟2階　講堂
出席者：
　委　　員　福島委員長、淺田委員、石井委員、三ツ浪委員、辻委員、草野委員
　病院組合　岩永管理者、生田副管理者、岸村会計管理者、
　　中井病院組合担当次長、伊藤病院組合担当局長、玉木事務局長
陪席者：
　甲賀市　　伴総務部長、澤田健康福祉部長
　湖南市　　西岡総務部長、橋本健康福祉部長、森村市長公室長
　公立甲賀病院　辻川理事長兼院長、古川理事兼看護部長、佐井理事兼事務部長、
　　中尾事務次長、中村人事課長、田中企画総務課長、上嶋医療ｻｰﾋﾞｽ課長、
　　久米財務課長、久保管財課長

主な内容：
１．公立甲賀病院組合管理者のあいさつ
２．地方独立行政法人公立甲賀病院理事長のあいさつ
３．地方独立行政法人公立甲賀病院令和４年度の経営状況等について（報告）
　病院から報告の後、各委員より以下のとおり意見や質問があった。

【委員】
　大津市民病院の令和3年度の決算書と比較してみたが、大津市民病院は令和3年度最終利益29億円、甲賀病院は4.2億円。大津のほうがコロナ関係で30億円、甲賀は10億円入っていた。何が違うのかと思い見ていると、やはり運営負担金が大津は12億円で、甲賀は6億円で、算定の仕方がよくわからないがどうやって決まっているのかということが疑問だ。あと、前回も副管理者が言われていたが、まったく間違ったことを言われていることは無いと思った。補助金を除けば赤字だが、コロナ患者を受け入れる役目を果たしているので、個人的には酷に思った面もある。補助金をもらいに行ったら補助金が降ってきたのかわからないけれども、当時は一般企業、個人事業者も組織維持のためには補助金をもらっていたので仕方なかったとは思う。医療面で充実して現評価がＢになっていて、財務面はＣ評価になっているので、あまり医療面の充実ばかりお金を使うと、財務面はいつまでたってもＣ評価ばかりでこれの繰り返しになると思う。一時は他のことを犠牲にしてでも財務面を改善させたいと個人的には思った。

【病院】

コロナの補助金について、大津市民病院は 30 億円の補助金が入っていたことだが、滋賀県の中でも一番重症の方を診るＩＣＵ、ＨＣＵベッドをかなり多く確保しておられた。一般のベッドが 7 万円少しだが、ＨＣＵは 1 ベッド当たり 20 数万円となり、単位が違う補助金になっていて、ベッドの数が大きく影響していると感じている。

４．議題

⑴令和 4 年度事業実績に関する評価（案）について

【委員長】

本題の実績評価ということである。これは、地方独立行政法人法第 28 条第 1 項第 2 号の規定に、地方独立行政法人は事業報告について設立団体の長の評価を受けなければならないことになっており、その評価に際し、評価委員会規則第 2 条第 2 号に基づき委員各位の意見をお聞きする。事務局から資料の説明をお願いする。

事務局から説明の後、各委員より以下のとおり意見や質問があった

【委員】

大項目の評価について、一つ目の市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項は、病院の事業として最も重要な評価項目だが、これをＢ概ね計画通りとされたことについては同意する。救急医療、高度医療について甲賀圏域の中核病院としてかなりの成果実績を上げていることは評価に値すると思う。概ね計画通りとしたことについては了解できる。

2 番目の業務運営の改善及び効率化に関する事項だが、Ａ計画どおりは過大評価だと思う。看護師対策に関して看護師数、看護師の離職率は目標を大きく達成できていない。小項目で 3 点というのは計画の 100％以上達成しないと付かない。どうして看護師がこれだけ足りなくて充足できていないのに、おそらく看護師が離職してくのは職員のやりがいと満足度の向上の中にあるわけだけれど、ワークライフバランスが十分に充当できていない、それから職員育成体制の整備強化が目標通り行っていないということから起こっているわけで、評価が 3 となる根拠が薄弱ではないかと思う。従ってこの大項目は少なくとも概ね計画どおりへランクダウンしないといけないと、実質的にはやや遅れているというところまで持っていくべきなのかもしれないが、現段階では過大評価だと思う。理事長は中途採用者や新卒者の増加に伴い、2023 年 10 月には 25 床再開の目途は立ってきたと書いているが、現段階でＡ評価をす

るということは過大評価と考える。

3 項目の財務内容の改善に関する事項は明らかにCでやや遅れているというのは、これで衆目の一致するところだ。これをどう解決していくかというところをよく検討する必要があると思うが、この目標値から大きく乖離している評価項目もある。例えば病床の稼働率とか、これは全く達成できていない。これは看護師が足りないために30%近く下がっていると思われるが、これをどうしていくのかというのが今後の大きな課題だと思う。

【委員長】

この会議は答弁するものではないので、意見を聴取するものである。ほかの委員の方何かありますか。

【委員】

今の説明を聞いて、離職率の9.3%というのは大変高い数字ではないかと思う。どうしてそんなに高いのかという原因を究明していただきたい。医療従事者の確保という面において大変重要な検討課題である。収入の確保において2の評価、収入管理機能の強化が遅れているところの改善点が重要になってくる。ますます高齢化が進むと患者の増加が懸念されるが、病院としての体制強化をどういう風に考えているのかお聞かせ願いたい。

【委員】

看護師確保について、職員のやりがいと満足度に関しては、新たな研修に参加などでかなり頑張っていると報告をされたが、確かに離職率に関しては 9%程度というのは全国調査の中で大体10%前後の離職率となっていたので、特別高いというものではないと思うが、しかし離職率が問題になると思うので、課題として考えなくてはいけない。やりがいを感じているという報告があったので、これについてはよかったなと思うけれど、看護師確保は、甲賀病院に限らず甲賀圏域全体が非常に厳しい状況であり、県下でも甲賀圏域と高島圏域がそういう状況になっている。手術を受けられないという状況に病院全体が一丸となって取り組みを進めてきたという話があったが、看護師確保及び定着に関しても人材についてすごく大事だと思うので、全病院が一丸となってやりがいがあってモチベーションが上がるような取り組みを今後も継続していただきたいと思う。人を確保して定着していただくと地域のアピール力は全然違うので、働き甲斐のある病院だということが、地域密着型の病院だと患者から見えるので、ぜひこれからも頑張っていただきたい。それを含め委員のご意見に賛同するところがある。

1点質問だが、NO2-2の5ページに「必要な病床数については、慎重に検討、協議していた

だきたい」とあるが、これはどういった意味か教えていただきたい。今の病床数ではなくて、地域医療構想を考えると別の病床数が出てくるのかなと勘ぐってしまったので教えていただきたいと思う。それと予防医療の充実について、報告を聞いて頑張っていただいているように思った。感想として言っておく。

【事務局】

この地域医療構想を踏まえ必要な病床数については慎重に検討、協議していただきたいというところだが、現在、甲賀病院では 48 床を休床させていただいている。休床を何とか今の医療構想に基づいて再開してほしいと、そういう意味も込めた中で必要な病床数については、慎重に検討、協議して再開していくと表している。

【委員】

総合評価のところで、甲賀医療圏域の中核病院として病院、診療所との連携を図り医業収支の安定化を図るとあり、病診連携として甲賀病院を中核病院とした連携を進めている。照会をしたらすぐに診てもらえるとか、或いは逆紹介で地域の患者は掛かりつけ医に戻してもらうということはしっかりやっていただいている。医療面で例えば小児科領域だとか、精神科、心療内科領域だとか、どこの地域も少し足りない、産科もそうだ。そういうものを地域の中核病院として地域で完結できるように、不採算部門かもしれないが用意していただいたらと思う。そのことと収支、財務内容とは相容れないところがあるので、管理者も不採算部門を地域で完結できるように甲賀病院は進めているとなった場合は、勘案していただき、他の地域ではない取り組みをしていると理解いただけたらと思う。やはり、職員のやりがいと満足度の向上の所が本当はここが一番ネックで、職員がしっかりと地域で活躍できないと続けられないということを一番危惧していて、そこが甘い評価になっていると気になったところだ。

【委員】

支出の削減がやや遅れている財務内容ですが、組織としても細かいことでいいので減らせるものがあれば減らしていただければと思う。

⑵第 1 期中期目標の期間における業務実績評価（案）について

【委員長】

法の規定に基づき、地方独立行政法人は中期目標の期間における業務実績について設立団

体の長の評価を受けなければならないことになっており、その評価に際し、規則に基づき委員各位の意見をお聞きするもの。事務局から資料の説明をお願いする。

事務局から説明の後、各委員より以下のとおり意見や質問があった。

【委員】
令和 4 年度と同じことが全体についても言える。特に 2 項目目の業務運営の改善及び効率化に関する事項のなかで、職員育成体制の整備・強化というところが、看護師の育成について、決算状況表で看護学校の事業収益はこの 4 年間に減少傾向だ。看護学校の事業費用自体も下がってきている。看護学校を持っていながら、事業を縮小しているような気がする。看護学校の運営体制を見直す必要があるのではないかと思う。今看護師は 4 年の看護大学を卒業する人が増えてきて、専門学校の需要、或いは学生を集める力というものが落ちてきている。ここをぜひ見直していく時期ではないか。
全体の評価は、業務運営の改善及び効率化に関する事項の計画どおりは絶対に変えてもらわなければいけない。

【委員】
48 床の休床を戻すということだが、確実に看護師確保を行いとある。これ難しいなら難しいと言ってしまった方が良いのではないかというのが率直な意見だ。

【病院】
委員のご指摘はもっとだと思う。まず、看護学校の運営を縮小しているわけではなく、受験者数が減少している。全ての専門学校がそうだが、当院が敢えて意図的に縮小しようとしていることは全くない。誤解ないようにお願する。それと看護師確保として、甲賀市、湖南市の高校全てを毎年回り、京都府、滋賀県、三重県全ての看護大学の方にも出向いて当院に就職してもらう活動をやっているが、結果として看護師が増えないというのは事実だ。看護専門学校を大学化していくことも甲賀市と意見交換し、そういうことも見据えて議論をしている。
ご指摘の 48 床を再開するということが絵にかいた餅にならないようにということだが、10 月 1 日から 25 床を再開する予定で、そこに向けた看護師確保はしている。来年の 10 月 1 日から 48 床フルオープンし、413 床としての機能を発揮する。なぜそうしないといけないかということは先ほどの委員のご指摘のとおりだし、そもそも甲賀市・湖南市の患者さんが 3 割ほどは外へ出ている、それは甲賀圏域内で十分な医療がまだできていない部分があると考えて、基幹病院である当院が機能をフルに発揮できる状態にする、それには看護師を確保して急性期の病棟を再開するという計画に基づいて、職員が一致団結してやっている最中だ。離職対策のことも申し上げると、当然当院の中で一番大きな問題としてとらえており、当院がやりがいをさらに求めて離職の方が減るように、ありとあらゆる方策、施策に取り組んでい

る最中であるということを述べさせていただく。

【委員】
看護師資格を取っていても辞めてパートの仕事に行こうと言っている方もいた。知識的に戻れない、夜勤があるから行けないと言われていた。国や市、地域として全体で考えないと増えないと思う。どんどん若い人が減っているので、若い人が住みやすい市を作ってもらわないとと思う。ここだけで話し合っていてもなかなか増えないんじゃないかと思う。

【委員】
財務また営業収益を見るとコロナによる収益というのが大変大きいと思う。今後コロナが収束し、患者さんが増えたとき、長期的な経営の収支のシミュレーションを聞かせてほしい。長期的に見たときにこの収益が確保できないという事態になることを危惧している。

【委員長】
ご意見として伺っておく。

【委員】
5 疾病 5 事業等に関するところで〇と●が並んでいるけれども、甲賀圏域のこれらの医療に関して頑張っていただいているなと印象を受けた。この評価でいいと思う。いろんな疾患があるが基本的な疾患について、48 床に結構こだわっていて、必要ないんだったらいらないんじゃないかと思っていたが、先ほどの意見を聞いて 3 割の人たちが圏域内で治療を受けられるように目指しているということなので、是非頑張っていただきたいなと思う。まず看護師を確保して、そのうえで病床利用率の向上を目指していただきたいと書いていただいたので、看護師確保を目指して頑張っていただき、この評価でよい。

【委員長】
全員の方からご意見をお聞きした。病院は片方では診療を行うところではあるけれども、片方では大きな産業だ。特に小さな人口の所では。つまりいろんな外部の方が入って仕事をしていただいているので、ある意味では一つの大きな産業という側面もあり地域の環境と関係性はあると思う。
それでは今日いただいた議題はこれで終わりにさせていただく。次にその他の令和 4 年度実績評価、第 1 期中期目標の期間における業務実績評価の公表までのスケジュールについて、事務局から資料の説明をお願いする。

【事務局】
今後のスケジュールについての説明。

【委員長】

説明に対してなにか質問はないか。

本日予定した議題は全て終わらせていただいた。他に委員各位から特になければ閉会させていただく。最後に副管理者から挨拶をいただく。

【副管理者】

公立甲賀病院組合副管理者のあいさつ。

【委員長】

本日はこれにて終了させていただく。

以上

＜資料＞

・資料１　令和４年度地方独立行政法人公立甲賀病院経営状況等について
・資料２　令和４年度事業実績に関する評価（案）について
・資料３　第１期中期目標期間の業務実績に関する評価（案）について
・資料４　令和４年度事業実績及び第１期中期目標期間の業務実績に関する評価の公表までのスケジュールについて